

11

冬期間も引き続き注意を

13

夜高パトロール隊出動式

冬の交通安全運動週間に合わせて、夜高パトロール隊（石田隆広総隊長）の出動式が、11月13日（木）北いぶき農協ガソリンスタンドで行われました。

石田総隊長は、隊員の方々に「冬は、いつも以上に交通安全に注意しなければなりません。皆様の日々の活動が重要になってきますので、引き続き協力をお願いします」と激励されました。

また来賓として、深川警察署沼田警察庁舎おおしませいしの大島誠司みづらつよし所長、町教育委員会の三浦剛教育長が出席され、本格的な冬を前に交通安全と防犯意識を再確認しました。



11

米の育ち方や食べ比べ体験

13

いただきファーム

J A北いぶき青年部沼田支部（下保裕樹部長）が主催する「いただきファーム」が11月13日（木）沼田小学校で行われました。

いただきファームは、小学校の児童に食べ物の大切さや食に興味をもってもらうことを目的に行っており、今年は低・中・高学年に分かれて、それぞれお米の育ち方や沼田町産とアメリカ産のお米の食べ比べなどを行ったほか、どん菓子作り体験やお米を袋に詰めてオリジナルのラベルを作成しました。

参加した児童は「沼田町産のお米とアメリカ産のお米が想像以上に似ていてびっくりした」と話されていました。



11

さりげない気づきが未来を変える

21

認知症フォーシーズン【秋】

沼田町で学ぶ認知症フォーシーズン【秋】が11月21日（金）開催されました。

今回は、「さりげない気づきが未来を変える～認知症を防ぐ地域の力～」をテーマに奈良県立医科大学MBT研究所の梅田智広うめだともひろ副所長による講演が行われ、約40名が参加されました。

講演では、町内の一部住宅に設置されている「電力センサー」を活用したモニタリングシステムが紹介され、電力使用パターンの変化から、住民の生活リズムの乱れや活動状況の異変、認知症の初期傾向をどのように察知できるかなど、その仕組みと可能性について説明していただきました。



11
23

廃線前最後の誕生日をお祝い

115周年記念「沼ルシエ」

沼田駅未来協議会（松尾敦史会長）が主催する石狩沼田駅イベント「沼ルシエ」が11月23日（日）石狩沼田駅で開催されました。

この日は、留萌本線開業115周年で、廃線前最後の誕生日を迎えたことから、キハ54形の車両や、石狩沼田駅の駅名標をかたどったケーキで、最後の誕生日をお祝いしました。

また、オリジナルヘッドマークを付けた臨時列車「ありがとう留萌本線号」の運行や、イベント限定の終着駅到着証明書、沼ルシエグッズが限定で配布され、会場は町民の方や鉄道ファンの方で賑わいました。

11
25

42年間の交通安全活動に感謝

中澤指導員交通栄誉緑十字銅賞表彰

交通安全指導員として42年間活動を続け、交通安全指導員会会長も務められた中澤弘幸氏が、長年にわたり交通安全の推進に尽力された功績が称えられ、一般財団法人全日本交通安全協会（宗岡正二会長）から交通栄誉緑十字銅賞が贈られ、11月25日（火）横山町長から伝達されました。

横山町長は、「交通安全指導員として42年間の活動に感謝します。これからも事故撲滅と交通安全の普及のために、ご協力くださいますようよろしくお願いします」と話され、中澤氏は「最近では高齢者の事故も増えておりますので、自分も事故に気を付けながら、交通安全の普及活動を進めていきます」と挨拶されました。

11
26

ゼロカーボンについて考える

ゼロカーボン標語・ポスターコンクール表彰式

町が主催する「ゼロカーボン標語・ポスターコンクール」の表彰式が11月26日（水）沼田中学校で行われました。

沼田町は「ゼロカーボンシティ宣言」を行っていることから、次世代を担う中学生にゼロカーボンに対する認識や活動について考えるきっかけを作ることを目的に環境教育の一環として開催されており、審査会を経て、学年ごとに選ばれた標語、ポスターの優秀作品が選ばれ、横山町長から生徒たちに賞状が授与されました。



11

27

太蔵流チャンスをつかむ技術

生涯学習セミナー「杉村太蔵講演会」

町教育委員会が主催する生涯学習セミナーとして、元衆議院議員でタレントの杉村太蔵氏の講演会が11月27日（木）町民会館で開催されました。

講演会は「太蔵流チャンスをつかむ技術～一緒に考えよう元気なまちづくり～」をテーマに、自身の経歴を振り返りながら、挫折や苦悩、どうやってチャンスをつかんできたかについて、具体的なエピソードを交えて熱く語っていただいたほか、「より良いまちづくり」を実現するために、地域を引っ張っていく「良いリーダー」の特徴やどういう人がリーダー候補なのかを伝えていただき、元気なまちづくりに向けた意識が高まる機会となりました。



11

28

長年のご尽力を称え

令和7年度沼田町商工優良従業員表彰式

観光情報プラザにて、11月28日（金）沼田町商工会（吉住淳男会長）主催の沼田町商工優良従業員表彰式が執り行われ、今年は2事業所から8名が表彰されたほか、渡部建設株式会社の宮川誠氏が沼田町長表彰を受賞されました。

表彰者を代表して宮川氏は、「優良従業員表彰・沼田町長表彰をいただき大変光栄です。今後これから仕事をするうえで大きな励みになります。表彰者一同、更なる会社の発展と沼田町の発展につながるようこれからも努力してまいります」と謝辞を述べられました。



12

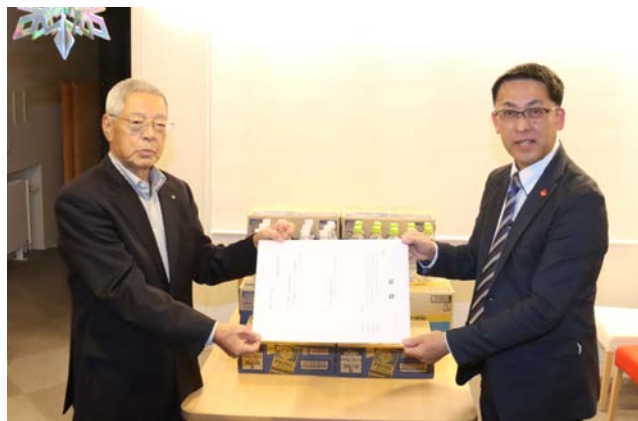
2

クリスマスプレゼントいただきました

コカ・コーラクリスマスプレゼント寄贈式

北海道コカ・コーラボトルリング株式会社（酒寄正太代表取締役社長）から社会貢献活動の一環として、12月2日（火）沼田町社会福祉協議会（松田剛会長）に清涼飲料水258本がプレゼントされました。

この取組みは、子どもたちや高齢者の方々をはじめとした多くの方へ笑顔を届けることを目的に、1968年から毎年クリスマス時期に合わせて行われているもので、寄贈された清涼飲料水は、町内の老人ホームやデイサービスに配られるなど、一足早いクリスマスプレゼントとなりました。



12

5

災害時の協力体制強化へ

沼田建設業協会災害対策協力行動指針伝達

沼田建設業協会（廣野辰也会長）が災害発生時における町との連携を強化するため、12月5日（金）「災害時における応急対策業務についての協定」に基づく災害対策協力行動指針を沼田町に伝達していただきました。

この行動指針は、大規模な自然災害などが起きた際、沼田町からの協力要請に対し、協会が実施する協力業務に関する基本的な行動基準を定めるものです。これにより、災害発生直後の緊急対応から復旧活動に至るまで、協会が持つ専門的な技術や重機などを最大限に活用し、住民の安全確保と早期復旧に貢献していただきます。



12

9

遺贈寄附で協力協定

北洋銀行と遺贈寄附に関する協定

沼田町と株式会社北洋銀行（札幌市：津山博恒取締役頭取）は12月9日（火）に遺贈寄附に関する協力協定を締結しました。

遺贈とは、遺言によって財産を相続人以外の方に送ることで、本協定締結により沼田町に対する遺贈による寄附を行うサポートをしていただくことが可能となりました。

「遺贈による寄附」に関する協定を通じて、遺贈をご希望される方のご意思を実現していただき、沼田町のまちづくりの活性化に取り組んでまいります。



12

12

壁新聞にまとめて発表しました

小学4年生野菜栽培体験のまとめ発表会

沼田小学校（吉田純一校長）4年生が行ってきた野菜栽培体験授業のまとめ発表会が、12月12日（金）行われました。

野菜体験授業は毎年、農業女性グループ「農天气の会」（辻よし子代表）が、子どもたちに食事の大切さや、自分たちで作る喜びを伝えることを目的として実施されており、児童たちは3グループに分かれて、野菜の栽培体験で感じたことやインターネットで調べたことを壁新聞にまとめ、「農天气の会」の会員や小学3年生の児童たちに発表されました。

